

地域ネットワークニュース

～平成25年2月の勉強会のお知らせ & 1月の勉強会報告～

第181回 地域ネットワーク勉強会

知的障害者施設の利用者支援の現状 と短期入所の利用について

講師：社会福祉法人鹿島育成園

育成寮副主任 中村厚志 氏

2月25日(月)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館内にて

参加費無料

障害者の福祉制度は平成15年に支援費制度が始まり「措置から契約へ」と大きく転換が図られたことで、利用者と事業者が対等な立場で支援する形態になりました。

その後10年。自立支援と利用者意思の尊重を重点に、障害者自立支援法への移行、障害者総合支援法の制定など、幾度となく制度の見直しがされている現状にあります。

障害者の入所施設においても、本人の能力を活かした活動プログラムや生活支援が提供されており、ご本人の能力や希望に合わせてグループホームに生活の場を移したり、就労へ向けたチャレンジを支援したりと、より個別支援を重視した関わりが注目されています。

今回の勉強会では知的障害者を主に支援する鹿島育成園の日中活動や入所者支援の内容、現状をお伝え頂きます。また、在宅で生活する障害者が一時的に施設を利用する短期入所（ショートステイ）について、利用するために必要な手続きや流れについて説明頂きます。

障害者を支える支援者やご家族が、確かな情報と現状の把握をしておくことが障害者本人の安心した生活につながります。

障害者支援関係者やご家族等々、多くの方々の参加をお待ちしております。



お問合せ：電話 0299-93-0294 神栖市社会福祉協議会 地域福祉推進センター 三浦

第180回 地域ネットワーク勉強会報告

1月23日開催〈参加者21名〉



冬の感染症から身を守ろう

講師：あきら医院 中島 章 院長

冬に流行する感染症はノロウイルス、ロタウイルス、インフルエンザ、風邪、マイコプラズマ肺炎など、枚挙にいとまがありません。そういった感染症も根本的には手を媒介する感染がほとんどです。手についたウイルスを目や鼻、口などに無意識にもっていくことにより、粘膜からウイルスが侵入します。インフルエンザは、予防接種をしても罹患してしまうこともあります。結果その症状を大きく弱めてくれるので、重症化の恐れのある小さなお子さんや高齢の方たちには、特に予防接種をしておくメリットが大きい、と様々な感染症の特徴とその予防策について詳しく伝えて頂きました。

後半は、感染者の嘔吐物や糞便などを処理したゴム手袋を手を汚さずに外す方法と、感染症予防の手の洗い方について実習形式で学ぶことができ、感染予防には基本的な知識を習得しておくことが重要であることを再確認する機会となりました。